

千葉県ユニセフ協会機関誌

ともだち

第53号

2022年7月発行

ウクライナ危機とユニセフの支援

ブルードット

～避難ルート上の支援拠点～



©UNICEF/UN0603102/Raica

周辺6か国23か所に設置された「ブルードット」では、健康診断や心のケア、宿泊や交通の手配、法律相談などすべての子どもと家族が必要な支援を24時間体制で提供しています。また、同伴者のいない子どもや親と離ればなれになった子どもを特定し、確実に保護できるよう努めています。(設置数は5月3日時点)

子どもにやさしい空間

～避難先での学習支援・心のケア～



©Khrystyna Pashkina

1万人以上が避難しているハリキウ(ハリコフ)市内29カ所の地下鉄駅に設置された「子どもにやさしい空間」ではアートセラピー、遊び、読み聞かせ、学習、情緒的支援のための学習教材を備え、教師の資格や心理学などの専門知識を持ったボランティアが未就学児や子どもたちに学習支援や心のケア支援を提供しています。

オンライン教育

～安全で適切な学びの機会を～



©UNICEF/UN0634262/Gilbertson VII Photo

ハリキウの地下鉄駅で宿題をする12歳のドミトロさん
ユニセフは5年生から11年生までを対象としたオンライン教育プラットフォーム開発を支援しているほか、現在実施中である爆発物リスク教育に関するデジタルキャンペーンや、教育関連物資の供給も支援しています。(2022年4月18日撮影)

2022年2月24日以降、ウクライナでは紛争が激化し、3分の2の子どもが国内外で避難生活を送っています。

安全な暮らしを追われ、教育の機会を失い、避難を余儀なくされている子どもたちと家族のために、ユニセフはウクライナ国内および周辺国で緊急支援を24時間体制で行っています。

その内容は、安全な水の提供、衛生用品や生活必需品の提供・配布、戦時下でトラウマを負っている子どもたちへの心のケア、学習継続支援、難民の子どもたちの保護・家族への支援など幅広い分野にわたります。

ユニセフの活動はみなさまのご支援で支えられています。ご協力に感謝申し上げます。

CONTENTS

- 1 ウクライナ危機とユニセフの支援
- 2～3 ウクライナ緊急募金プロジェクト
- 4～5 ユニセフ国際理解講座
- 6～7 役員一覧・役員からのメッセージ
- 8 ユニセフ国際理解講座
- 9 知ることから始めよう～子どもの権利条約～
- 10 ユニセフ・ラブウォーク IN 東金
- 11 活動ファイル
- 12 ご協力ありがとうございました

INFORMATION

千葉県ユニセフ協会

月～金 10時～16時(祝祭日休み)

〒264-0029 千葉市若葉区桜木北2-26-30

コープみらい 千葉エリア桜木事務所 本館

TEL: 043-226-3171

FAX: 043-226-3172

Eメール: info@unicef-chiba.jp

ホームページ: www.unicef-chiba.jp



↑ホームページへリンクします

ACCESS

- ★JR都賀駅東口下車 徒歩約15分
- ★モノレール桜木駅下車 徒歩約5分



千葉県ユニセフ協会案内図

MAP

千葉市若葉区桜木北2丁目26番30号
コープみらい 千葉エリア桜木事務所 本館

16 平和と公正を
すべての人に



ウクライナの子どもの命と尊厳を守るために! 千葉県ユニセフ協会 ウクライナ緊急募金プロジェクト

2月24日にロシアが隣国のウクライナに軍事侵攻して以降、街は破壊され、暴力にさらされています。千葉県ユニセフ協会では3月4日に「**千葉県ユニセフ協会 ウクライナ緊急募金プロジェクト**」を始動、ウクライナの子どもたちへの支援を呼びかけています。

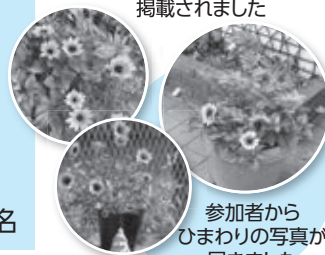
ユニセフ・映画上映会 「ひまわり 50周年HDレストア版」/ 「MINAMATA-ミナマター」

協賛: 株式会社ハルディン

4月22日(金)	ふれあいプラザさかえ(栄町)	募金額:108,249円
	10時~12時「ひまわり」50名/14時~16時「ひまわり」50名	
4月23日(土)	もりんぴあこうづ(成田市)	募金額:224,820円
	10時~12時「ひまわり」101名/14時~16時「MINAMATA」77名	
	17時~19時「ひまわり」94名	
4月26日(火)	千葉市生涯学習センター(千葉市)	募金額:118,531円
	13時15分~15時15分「ひまわり」40名/15時45分~17時45分「ひまわり」35名	



毎日新聞千葉版(4/26付)に掲載されました



参加者からひまわりの写真が届けられました

栄町・成田市・千葉市の3か所で、ウクライナ緊急募金プロジェクト「ユニセフ・映画上映会」を開催しました。

上映したのは1970年に公開された映画「ひまわり」と、ジョニー・デップ主演で水俣病を取り上げた「MINAMATA-ミナマター」です。当初は栄町ふれあいプラザさかえ、成田市もりんぴあこうづの2か所で開催予定でしたが、みなさまの声にお応えし、千葉市生涯学習センターでも開催しました。ふれあいプラザさかえ、もりんぴあこうづでは、ウクライナの状況を伝えるパネルや地雷のレプリカも展示しました。

また(株)ハルディン様にご協賛いただき、ウクライナの国花である「ひまわり」の苗を参加者全員に配布しました。参加者からひまわりの花が咲いたお話や写真なども届き、支援の輪が広がっています。

この映画上映会は、千葉テレビのニュース(TV・ネット)でも取り上げられたほか、ふれあいプラザさかえにはケーブルネット296と毎日新聞の取材もありました。**3会場で計447人のご参加、ウクライナ緊急募金 総額451,600円となりました。**また、外国コイン募金も多くの方にご協力いただき、お預かりした量は11.3kgとなりました。

ふれあいプラザさかえ



満員となった視聴覚室



写真でウクライナの状況を紹介



地雷のレプリカも展示しました



成田会場にはひまわりの苗を提供してくださった(株)ハルディン様が応援にかけつけてくださいました

もりんぴあこうづ



もりんぴあこうづでは3回上映



パネルをゆっくりご覧いただけました



ご希望の方には機関誌など資料を配布

千葉市生涯学習センター



急きょ開催決定も多くの方が参加



上映にあたり全員と平和への思いを共有



会場にひまわりを展示



3会場でお預かりした外国コイン、こんなにたくさん集まりました

オンライン募金 「フレンドネーション」

第1弾 3月4日～4月10日：募金額132,040円(33名)
第2弾 3月14日～7月31日：募金額175,871円(40名) ※7月4日時点
第3弾 6月1日～8月31日：映画「ひまわり」平和への思いを込めて



オンライン募金はこちら

3月4日に日本ユニセフ協会の「フレンドネーション」を利用したオンライン募金活動を開始し、目標額10万円としてスタートしました。開始から10日で目標達成！

3月14日から開始した第2弾もおかげ様で目標達成。現在第3弾のプロジェクトを立ち上げています。ご協力をお願いします。

ブース出展 NTTジャパンラグビー リーグワン公式戦

3月27日(日) シャイニングアークス東京ベイ浦安 対 ブラックラムズ東京
募金額：56,515円

協力：NTTコミュニケーションズシャイニングアークス東京ベイ浦安

NTTジャパンラグビー リーグワン1部に所属するシャイニングアークス東京ベイ浦安の主催試合にブース出展いたしました。

「SDGsマッチ」のこの日、千葉県ユニセフ協会のブースでは、SDGs輪投げ・ユニセフ支援品の展示・ウクライナ緊急募金のお願いを行いました。開門と同時に多くの方がSDGs輪投げや募金協力にお立ち寄りくださいました。

「ウクライナの子どもたちが平和に暮らせるように」とシャイニングアークスそして、対戦相手のブラックラムズ東京のサポーターのみなさんの応援をたくさんいただきました！

SDGs輪投げ参加、ウクライナ緊急募金、使用済み切手回収/外国コイン募金にご協力いただいた方は142名、ウクライナ緊急募金として56,515円が集まりました。試合は、シャイニングアークスの勝利!!!

1日でも早くウクライナの子どもたちが、青い空の下で楽しく安心してスポーツができるように、私たちができることをしていきたいと思います。



ユニセフブース内には蚊帳をはじめ支援品を展示



多くの方が募金に協力してくださいました



SDGs輪投げにチャレンジ



輪投げ参加でシャイニングアークス様よりノートのプレゼント

募金の呼びかけへのご協力

浦安ライオンズクラブ



いちちはやく浦安駅にて街頭募金活動を実施

ウクライナ支援コンサート実行委員会



5月1日にプリミール酒々井で開催されたウクライナ支援コンサートで募金を呼びかけ

市原中央高等学校



ポスターなどを作成して校内で募金活動

ガールスカウト千葉県第66団



バザーでの収益を募金に



日蓮宗蓮久寺
世界平和祈願
御朱印の御朱印代
(500円)
全額を募金に

「ウクライナの子どもたちのために」と、学校・団体・企業などで、ウクライナの子どもたちへの支援を呼びかけてくださいました。

また、ウクライナ危機を受け、事務局に募金を届けてくださる方や、募金の振込方法・振込用紙希望、募金の使われ方などお問い合わせを多くいただいております。電話が集中し、一時的に電話がつかないこともあり、ご迷惑をおかけしました。



東京新聞 千葉版

掲載していただいたお陰で多くの方から振込用紙の依頼がありました

ウクライナに一刻も早く平穏な日が訪れることを願い、多くのみなさまがウクライナ緊急募金プロジェクトに参加・協力してくださいました。心より感謝申し上げます。

ユニセフ国際理解講座【オンライン開催】

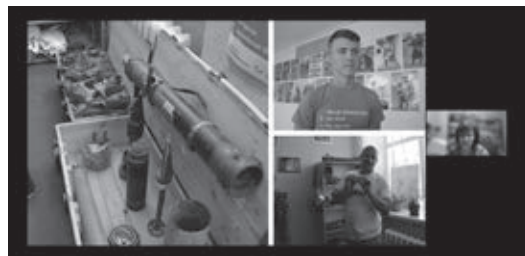
ウクライナの子どもたち

3月30日(水) 19:30~21:00 参加者：38名
講師：大久保真紀氏(朝日新聞編集委員)

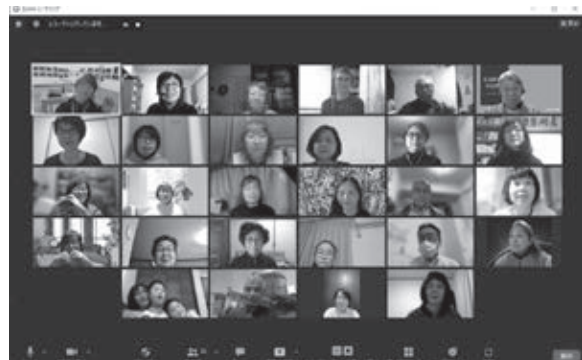
2018年6月にアグネス・チャン ユニセフ・アジア親善大使に同行し、ウクライナ東部を訪問した大久保真紀さんに、当時の様子をお話いただきました。ウクライナ東部では独立を訴える親ロシア派とウクライナ政府の衝突が2014年から続き、停戦が合意された後も、コンタクト・ライン(接触線)周辺では、昼間は比較的静かでも、夜になると砲弾の音が響く状況だったとのこと。大久保さんたちは、コンタクト・ラインから少し離れた地域に4日間泊まり、病院や学校、幼稚園を視察しました。ウクライナの人口は4千万人超でしたが、紛争によって150万人の国内避難民が出たと言われています。しかしこの紛争

は国内でも国際的にも関心は薄く「見えない戦争」と言われていました。親戚や家族を訪ねたり、年金をもらうためにコンタクト・ラインを越えてウクライナ政府支配地域と親ロシア支配地域の間を毎月100万人が往来しているとのことでした。コンタクト・ラインは全長457キロあり、通過点の両脇には世界で5本の指に入るほどのかなりの数の地雷が埋められていました。境界線近くの学校の先生によると昼間は比較的落ち着いているものの夜は防空壕に逃げることが多く、子どもたちは砲弾の音を聞いたり光を見ただけで何処へ逃げたら良いのか判断できると言い、朝起きても先の見えない現実を感じたとのこと。大きな精神病院が親ロシア派の砲弾によって大きく壊され、今は誰も住めない状態になっていました。大久保さんたちは学校やユニセフが支援している「サイコロジカルサポートセンター」を訪問し、紛争で心にトラウマを抱えた子どもたちに話を聞きました。

センターには4千人の子どもたちのうち160人がPTSDを抱えており、心のケアをしていました。その子どもたちも現在はどのようにしているのか気がかりです。学校に残っていた武器やガスマスクの使い方を先生が週一回子どもたちに教えたり、地雷を見つけたらどのように対処すればいいかなどの写真もありました。子どもは周りの環境や社会に敏感で、大人たちがとにかく普通の生活に戻れるように気づかっていることを感じたそうです。大久保さんのお話のあと、チャットで多くの感想や質問をいただきました。ウクライナ、ロシアだけでなく、世界では様々な地域で紛争が起きています。関心を持ち続け、紛争下の子どもたちに思いを寄せていきたいと思いました。



コンタクト・ラインに暮らす少年と学校の先生、実際に使われた兵器



報告ムービー

『光の当たらない子どもたち：アグネス大使 ウクライナを訪問』



アグネス大使がウクライナに訪問した際の動画です

◀動画QRコード

ウクライナと地雷

2022年2月24日に起きたウクライナ危機・・・わたしたちは、テレビや新聞で毎日ウクライナで起きていることを目にします。今回大久保さんの講演をお聞きし、ウクライナの紛争は今始まったことではなく、「忘れられた子どもたち 光の当たらない子どもたち」として、2018年にアグネス大使が視察していたこと、そしてコンタクト・ラインには当時から世界で最も多くの地雷が埋まっている場所であったことを知り愕然としました。ユニセフはウクライナの子どもたちに向けて、地雷教育講座を行い、「地雷が恐ろしいものであること」「地雷が埋められている危険がある場所には近づかないこと」を伝えています。今回の侵攻により、新たに仕掛けられた地雷による被害者も出ています。紛争が終わっても埋設された地雷は50年以上爆発する可能性があります。苦難の道が続きます。

ウクライナ：地雷の犠牲になる子どもたち／日本ユニセフ協会

14歳のアレクシー君は、地雷が原因で傷ついたひとり。紛争勃発から4年、ウクライナ東部は地球上で最も多くの地雷が埋まっている場所のひとつです。ユニセフは、子どもたちへの地雷教育を続けています。(2017年12月に公開した動画を2020年に一部修正したもの)



動画QRコード



ユニセフ国際理解講座【オンライン開催】

4月3日(日) 10:30~12:00 参加者: 23名

「コンゴ:紛争鉱物と私たちの暮らし」 —消費者である私たちができることを考えよう—

講師: 華井和代氏
(東京大学未来ビジョン研究センター特任講師・
NPO法人RITA-Congo共同代表)

コンゴの紛争鉱物・児童労働に詳しい華井和代先生をお招きし、コンゴの現状についてのお話を伺いました。

コンゴ民主共和国はアフリカの中央部にあり、日本の約4倍の面積を持つ国です。熱帯雨林が広がり、コンゴ川が流れる雄大な自然と、銅・コバルト・スズなど様々な鉱物が採掘される資源豊かな国です。私たちが日々使っている携帯電話には、コンゴで採れた鉱物資源が使われているそうです。

資源が豊かであるが故に、コンゴは様々な問題を抱えています。古くはベルギーの植民地時代、象牙や天然ゴム、パーム油が搾取され、その後、鉱物が採掘されるようになると、資源依存型の経済が築かれます。1960年代ベルギーから独立し、モブツ大統領の独裁政権末期、隣国ルワンダでジェノサイドが起こります。多くのルワンダ難民がコンゴ東部に流れ込むのと同時に、ジェノサイドの加害者も入り込んでしまったのだそうです。更に、1996年~2003年コンゴ紛争が起こると、東部にはルワンダ武力勢力をはじめ、小さな武装勢力が多数入り込み、力を振るうようになりました。現在も、武装勢力は鉱物採掘・取引への介入で紛争資金を稼ぎ、周辺の住民に暴力(殺害、略奪、性暴力)を振るうという状態が続いているとのことでした。

紛争の為の資金となる紛争鉱物(タングステン・タルタン・スズ)は、2010年取引規制されたのですが、先進国に輸出され、携帯電話等に使われています。また、コンゴ南部では大規模な外国鉱山会社のコバルト鉱山があり、これは紛争鉱物ではないのですが、場所によっては児童労働も行われているそうです。「コンゴには平和以外何でもある」という華井先生の言葉に、コンゴの悲しい現実を痛感しました。

消費者である私たちには何ができるのでしょうか。企業が紛争資源を使わないという動機づけをするために、まずコンゴの現状を「知る」こと、そして消費者として企業のCSRに訴えること。それらの重要性を感じることもできる講演でした。



ムクウェゲ医師は
2018年ノーベル平和賞
受賞

児童労働とは...法律で定められた就業最低年齢を下回る年齢児童によって行われる労働。農業生産に労働力として使われることが多く、コーヒーやゴム、カカオの生産、鉱山などの作業が主な物。アフリカの児童労働者数はおよそ7,200万人。

コンゴについて知るために華井先生が紹介してくださったもの

- 「すべては救済のために デニ・ムクウェゲ自伝」(あすなろ書房)
- DVD「女を修理する男」 一人の医師の勇気ある行動が世界を動かし4万人以上の性暴力被害女性を治療したコンゴ人婦人科医デニ・ムクウェゲ医師の命がけの治療を追ったドキュメンタリー。



映画「女を修理する男」より

〈今後の予定〉ユニセフ国際理解講座

今 アフリカで起きていること —ムクウェゲ医師の活動を通して—

ムクウェゲ医師の活動を見ながら、現在のコンゴ東部の状況についてお二人の講師にお聞きし、自分事として私たちのできることを考えます。

日時: 8月27日(土) 13:30~15:15

会場: 千葉市美術館 講堂およびオンライン (ハイブリッド開催)

講師: フリージャーナリスト 下村 靖樹氏 ほか



下村靖樹氏

千葉県ユニセフ協会 役員紹介

敬称略・50音順にしております(2022年7月1日現在)

県協会役職	お 名 前	役 職 名
顧 問	熊谷 俊人	千葉県知事
顧 問	神谷 俊一	千葉市長
会 長	中山 俊憲	国立大学法人千葉大学学長
副 会 長	麻生 博章	株式会社千葉銀行常務執行役員
専 務 理 事	首藤英里子	生活協同組合コープみらい常務執行役員千葉県本部長
常 務 理 事	伊藤 稔	(公財)ちば国際コンベンションビューロー代表理事
常 務 理 事	黒坂 典雄	千葉県青少年団体連絡協議会会長
常 務 理 事	鈴木 國夫	(公財)日本ユニセフ協会顧問
理 事	入江 康文	(公社)千葉県医師会会長
理 事	大久保利宏	敬愛大学経済学部特任教授
理 事	大澤克之助	株式会社千葉日報社代表取締役社長
理 事	片平 紀行	日本ボーイスカウト千葉県連盟理事長
理 事	佐久間英利	(一社)千葉県商工会議所連合会会長
理 事	佐々木博子	生活協同組合パルシステム千葉理事長
理 事	柴田加寿子	(一社)ガールスカウト千葉県連盟連盟長
理 事	染谷 光男	キッコーマン株式会社特別顧問
理 事	田村明比古	成田国際空港株式会社代表取締役社長
理 事	林 幸子	生活協同組合コープみらい理事
理 事	林 茂壽	千葉県農業協同組合中央会代表理事会長
理 事	吉田 謙次	株式会社オリエンタルランド代表取締役社長
監 事	熊谷 俊行	株式会社千葉銀行取締役頭取
監 事	篠崎 純	千葉県弁護士会会長

県協会役職	お 名 前	役 職 名
評 議 員	青柳 洋治	千葉テレビ放送株式会社代表取締役社長
評 議 員	安藤 淳	東京新聞千葉支局長
評 議 員	石井 智康	石井食品株式会社代表取締役社長
評 議 員	小布施祐一	読売新聞千葉支局長
評 議 員	神永 幸宗	中山身語正宗関東別院誓照寺副院長
評 議 員	上山 精一	千葉県生活協同組合連合会専務理事
評 議 員	河合 克美	株式会社千葉ロッテマリーンズオーナー代行兼代表取締役社長
評 議 員	坂本 雅信	千葉県漁業協同組合連合会代表理事会長
評 議 員	櫻井比呂樹	千葉県中学校長会会長
評 議 員	篠木 賢正	千葉県高等学校長協会会長
評 議 員	玉田 浩一	株式会社ベイエフエム代表取締役専務
評 議 員	徳永 澄憲	麗澤大学学長
評 議 員	永富 博之	日本労働組合総連合会千葉県連合会会長
評 議 員	名雪 雅美	農事組合法人郷園 総務部長
評 議 員	浜口 好博	イオンリテール株式会社取締役常務執行役員南関東カンパニー支社長
評 議 員	長谷川 豊	毎日新聞社千葉支局長
評 議 員	林 昇志	株式会社グリーンタワー社主
評 議 員	細田美和子	日本放送協会千葉放送局局長
評 議 員	前田 伸	株式会社マザー牧場代表取締役社長
評 議 員	松田 京平	朝日新聞社千葉総局長
評 議 員	水越 雅信	DIC株式会社常勤顧問 DIC川村記念美術館館長
評 議 員	美濃地 誠	株式会社ホテルオークラ東京ベイ代表取締役社長総支配人
評 議 員	森本 航	ジェフユナイテッド株式会社代表取締役
評 議 員	谷沢 健一	NPO法人谷沢野球コミュニティ柏理事長
評 議 員	山下秋一郎	千葉県小学校長会会長
評 議 員	吉田 和子	(公財)吉田記念テニス研修センター評議員
事務局長	福本 朋子	千葉県ユニセフ協会 事務局

千葉県ユニセフ協会 第24回理事会・評議員会

3月18日(金)ホテルグリーンタワー幕張にて第24回理事会・評議員会を開催しました。

理事会・評議員会それぞれでパワーポイントを使っの2021年の事業報告・決算報告および会計監査が審議され、承認をいただきました。



また、協議事項では、7月に実施する「ユニセフのつどい」の内容と、秋に実施予定の「Welcome UNICEF」の講演内容について意見交換が行われました。また、中山俊憲会長による新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について、感染の仕組みや現在の治療方法、ワクチン開発についての講話をいただきました。

最後に事務局より、ウクライナ支援・ウクライナ緊急募金への取り組みについて報告とご協力についてお話をしました。



役員からのメッセージ



読売新聞千葉支局長

小布施 祐一

「このまま温暖化が進むとサーモン1貫2,000円になっちゃうんだって」——。回転寿司店で小6の息子が嘆いていました。どのような根拠に基づく予測なのか分かりませんが、サーモン好きの息子が相当な危機感を持たされているのは確かです。

SDGs。「持続可能な開発目標」とはつまり、今のままでは持続できないということなのでしょう。私が小6だった頃には感じなかった危機感なので、ここ40年の間の変化です。今の子どもたちに責任はありません。

SDGsについて、子どもたちは一生懸命学び、真剣に取り組んでいます。でも、「このままでは破綻する」という心理的負担を子どもたちに負わせている責任は、我々大人にあります。子どもたちの何十倍、何百倍も真剣に、我々はSDGsに取り組まなければならないと思いました。

地球環境の持続に対する最大の脅威は戦争でしょう。17の目標のゴールをますます遠くします。これも子どもたちに責任はありません。

ユニセフが行っているSDGs達成に向けた取り組みや、ウクライナの支援活動に深い敬意を表します。評議員の一人として、ユニセフの活動に携わることができることに感謝しつつ、微力を尽くして参りたいと存じます。



麗澤大学 学長

徳永 澄憲

本学は「知徳一体」を建学の理念に掲げ、教育、研究、社会貢献を展開しています。また建学時(1935年)からの「道徳経済(道経)一体」「三方良し」の教育理念は、自分と相手と第三者というすべての人々にとって良いものを目指す考えであり、「誰一人取り残さない持続可能な社会をつくる」という現代の「SDGs(持続可能な開発目標)」の原則に通じるものがあります。SDGsに対する理解を深めるために、2019年に「麗澤大学SDGs推進プロジェクト」を始動しましたが、既に本学はそれ以前より学生の多くが、自分の立場で何ができるかを考え、国内外で積極的に社会貢献活動しています。その一つである、自主活動団体「Plas+」は「Present Love for All Student:すべての子どもたちに愛を」を合言葉に、カンボジアの小学校で、校庭に塀を設置するプロジェクトを実施すると共に、学生自ら出前授業として、情操教育に資する運動会などを企画し、子どもたちの教育に貢献しています。

ユニセフが掲げる「すべての子どもの権利が実現される世界」また、SDGsが目指す豊かで活力のある「誰一人取り残さない」社会を実現するために、皆様と共に考え、行動して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



日本放送協会千葉放送局 局長

細田 美和子

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続いています。家族と離れて避難する子ども、避難先で家に帰りたいと泣く子ども、日本に来て学校に通い始める子ども。連日、その姿に胸がかきむしられるような痛みを覚えます。

苦しんでいる子どもたちはもちろん日本にも大勢います。貧困、いじめ、差別…実はすぐ近くに困難に苦しむ子どもたちがいます。そうした子どもたちに私たちは何ができるのか。まずはその声を聞くことから始めようと、この5月、NHKは「君の声が聴きたい」と題したプロジェクトを実施、多くの番組を放送しました。その中で、千葉放送局では一人の記者が県内の定時制高校の学生たち取材しました。改めて痛感したのは、「学ぶこと」は子どもたちに「楽しさ」と「希望」をもたらすということ。学んだことで、将来の夢を持つことができたことと力強く語る学生の姿に胸が熱くなりました。

私は昨年7月、千葉に赴任しました。千葉県ユニセフ協会の活動に携わらせて頂くことになり、日本、ウクライナ、世界中の困難な状況下に置かれている子どもたちの役に立ちたいという気持ちがより強くなりました。これからも皆様のご指導を賜りながら精進したいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

ユニセフ国際理解講座【オンライン開催】

2月26日(土) 14:00~15:30

朝日新聞社 松田さんと考えよう! SDGs目標7 「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」

参加者: 40名

講師: 松田京平氏

朝日新聞社千葉総局長

今、世界の人口は、増加の一途をたどっています。地球温暖化による異常気象が世界の至る所で起こり、先進国のエネルギー政策についても問題点が指摘されています。これを受け、2050年までに「CO2の排出を実質0にする」「原発を廃止する」など各国で議論されています。またウクライナとロシアの問題が突出し、現在エネルギー問題が一層大きな課題となっています。

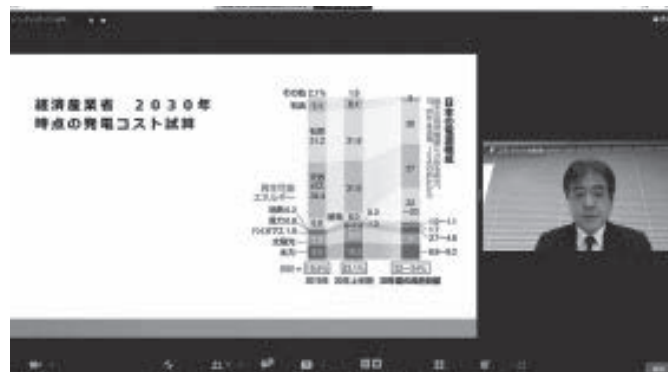
今回、朝日新聞千葉総局長の松田京平氏をお招きし、＜松田さんと考えよう! SDGs目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」＞という演題でユニセフ国際理解講座を開催しました。

クリーンエネルギーの日本の政策は、2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、2050年までに実質0にする。再生エネルギーを36~38%に引き上げ、原発を20~22%に、石炭火力を19%にするとし、EUなどのように石炭火力を廃止とまでは至っていません。

2011年の福島の大東電力の原発事故により、原発廃止の世論は盛り上がるも、今廃炉すべき21基の原子炉も、使用済み燃料のサイクルが進まず、廃棄への道は遠いです。

世界の潮流を覗いていくと、脱炭素に原発は必要だという考え方があり、現実には、EU内13カ国では、原発が100基、26%を占めています。そんな中、ドイツは22年度末に原発0を目指しています。そして、風力発電、太陽光発電を30年には、80%へと考えています。

COP26では、様々な再生エネルギーについて話し合われていますが、ウクライナとロシアの問題により、COP26の課題がどこまで進むのか不透明です。資源の乏しい日本においては、石油やガスは輸入に頼っている現状ではありますが、再生可能



なエネルギーへの移行は早急に対応していくことが望めます。今後の課題として松田氏は、①羽のない風車への移行 ②海の生態系を考えた、洋上風力発電 ③作った電力を地元で使用する。などをあげられました。また、CO2を減らすために個人レベルでもできることを積み上げていく必要があるとおっしゃっていました。お話を伺い、今から私たちは何に心がけて生活していくか改めて考えさせられました。日々節約生活を心がけたり、車より公共機関を利用したり、節電家電にすることなど、私たち自身がCO2を出さない生活を心がけていきたいです。



ボランティア全体会開催しました(オンライン)

2月26日(土)
16:00~16:45

松田さんの講演会終了後に、ボランティア全体会を開催しました。各ブロックの2021年の活動の様子、2022年度の抱負などを発表しました。他のブロックの活動を聞いて、今年は自分のブロックでもやってみたい、こんな活動もしたいと、今年度の抱負が皆さんの胸にわいたのではないのでしょうか。

昨年は、使用済み切手ボランティアに多くの方に参加していただき、ユニセフ募金につながる活動ができました。そこで、**2022年度千葉県ユニセフ協会のボランティア活動は、①運営・活動ボランティア ②使用済み切手仕分けボランティアの2種類としました。**①②の同時加入も大丈夫です。皆さんと手を取り合い、自分たちでできることを実践し、もっと多くの方にユニセフの活動を広げるようにがんばっていききたいと思います。

～知るところから始めよう～

子どもの権利条約

「子どもの権利条約」って何だろう

- この地球に住む子どもたちみんなが幸せに、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長してほしいという願いを込めて作られました。
- 貧しい暮らしに苦しんでいたり、自然災害や戦争に巻き込まれたり家族や家をなくしたり、学校に通えなかったり、さまざまな差別を受けたり、子どもたちは多くの問題に直面しています。

そこで、ユニセフはじめ、国際機関や世界の国々が協力し、1989年に「子どもの権利条約」を作り、日本も1994年にこの条約に入りました。**196の国と地域が批准しています。**
(2021年11月現在)

「子どもの権利条約」4つの原則

- 命を守られ成長できること
- 子どもにとって最も良いこと
- 意見を表明し参加できること
- 差別のないこと

子どもの発達に応じてその権利が実現できるよう指導する責任はまずは親(保護者)にあること。条約に入った国は、条約にある権利が実現するよう法律などを整える必要があります。また大人にも子どもにもこの条約の内容を知らせるように定めています。

子どもたちには、どんな権利があるの？

この条約の定める権利には、大きく分けると以下のようなものがあります。



生きる権利

住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなど、命が守られること



育つ権利

勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること



守られる権利

紛争に巻きこまれず、難民になったら保護され、暴力や搾取、有害な労働などから守られること



参加する権利

自由に意見を表したり、団体を作ったりできること

「子どもの権利条約」について一緒に学びませんか？

千葉県ユニセフ協会では、日本ユニセフ協会作成、「子どもの権利条約カードブック」を利用して出前授業を行っています。紹介動画も作成しました。ぜひご覧ください。



人権講習実施団体紹介

公津の杜・三里塚コミュニティセンター合同人権講習会

4月25日(月) 9:30～11:30

会場：成田市公津の杜コミュニティセンター 参加者：22名



守られているの?子どもの権利

～子どもの権利条約を
読みながら考えてみよう～

4月27日(水) 10:45～12:15

オンライン開催

学校人権教育研究協議会

全体協議会・推進校協議会

参加者：67名

楽しんで!学んで!社会貢献 ユニセフ・ラブウォーク開催しました

ユニセフ・ラブウォーク IN 東金

6月4日(土)9:30~12:30 ゴール後解散

参加者 大人58名 子ども4名 幼児2名 計64名

募金額 58,058円(参加費から29,800円 募金箱 28,258円)

ウクライナ緊急募金

東金市の八鶴湖とその周辺を巡るユニセフ・ラブウォーク IN 東金を6月4日(土)に開催しました。

今回は体力に自信がある方のために約4.5キロの「がんばりコース」とのんびりと歩ける約1.5キロの「のんびりコース」を用意しました。どちらも東金高校を出発し、東金高校に戻るというコースです。

東金は江戸時代初期に鷹狩場だったことから、宿泊の東金御殿(現、東金高校が敷地跡地)が作られ、隣接する八鶴湖はその時、小さな池から造成されました。また、今回のコースで巡る最福寺と本漸寺は、ともに徳川家康公とゆかりのあるお寺です。

当日は晴天に恵まれ、参加された方は気持ち良い汗を流され、また、ゴール後にはコースの途中で出題されたクイズの答え合わせや、お楽しみ抽選会を楽しみました。

今回のラブウォークには、東金高校から40名の生徒さん、校長先生・教頭先生がボランティアとして参加。受付や駐車場誘導、コース案内、クイズ出題などにご協力いただきました。高校生から元気もらい、笑顔があふれる楽しいラブウォークでした。

主催：千葉県ユニセフ協会

後援：千葉県 東金市 東金市教育委員会

協賛：東京サラヤ(株) 生活協同組合コープみらい千葉県本部
船橋歩こう会 東金商工会議所青年部



東金市で初めての開催
八鶴湖畔



地雷について
説明・クイズに回答



出発前
入念に準備体操



本漸寺
家康公お手植えの蜜柑を見学
クイズに回答



山王台公園からは東金市街
遠くに九十九里浜と見事な景色が広がりました



ときがね湖
クイズに回答



最福寺
クイズに回答



お楽しみ抽選会

がんばりコース(4.5km)



上総チーム



下総チーム



安房チーム



武蔵チーム



信濃チーム



越後チーム

のんびりコース(1.5km)



加賀チーム



伊豆チーム

活動ファイル

(2022年1月～2022年6月)

■八千代市

- 3月18日(金)
八千代市立萱田小学校学習会

■印西市

- 6月20日(月)
印西市立原山小学校学習会(オンライン)

■栄町

- 4月22日(金)
ユニセフ・映画上映会「ひまわり」

■松戸市

- 1月31日(月)
千葉県立松戸国際高等学校学習会
(オンライン)

■船橋市

- 6月24日(金)
船橋市立高郷小学校学習会

■市川市

- 1月21日(金)
市川市立妙典中学校学習会
- 2月19日(土)
NPO法人市川子ども文化ステーション
中央地区学習会(オンライン)



市川市立妙典中学校学習会

■千葉市

- 3月24日(木)／6月23日(木)
2022年度切手仕分けボランティアの会
(対面・オンライン)
- 4月26日(火)
ユニセフ・映画上映会「ひまわり」
- 4月27日(水)
学校人権教育研究協議会学習会(オンライン)
- 6月12日(日)
ガールスカウト千葉県第22団学習会
- 6月15日(水) 16日(木)
千葉市立加曽利中学校職場体験
- 6月21日(火)～27日(月) 国際協力パネル展



切手仕分けボランティアの会



国際協力パネル展



千葉市立加曽利中学校職場体験

■東金市

- 6月4日(土)
ユニセフ・ラブウォーク IN 東金



ユニセフ・ラブウォーク IN 東金 東金高校のみなさんと

■鴨川市

- 6月9日(木)
千葉県立長狭高等学校学習会
千葉県立長狭高等学校学習会



■東京都江東区

- 3月27日(日)
NTTジャパンラグビー リーグワン公式戦
NTTコミュニケーションズシャイニング
アークス東京ベイSDGsマッチ

オンラインでの活動

- 2月26日(土) ユニセフ国際理解講座「朝日新聞社 松田さんと考えよう!SDGs目標7エネルギーをみんなに そしてクリーンに」
- 2月26日(土) ボランティア全体会
- 3月30日(水) ユニセフ国際理解講座「SDGs目標16 平和と公正をすべての人にーウクライナの子どもたちー」
- 4月 3日(日) ユニセフ国際理解講座「コンゴ:紛争鉱物と私たちの暮らしー消費者である私たちができることを考えようー」

ご協力ありがとうございました

unicef 
(敬称略・順不同)

2022年1月～2022年5月

* 千葉県ユニセフ協会コード番号で振り込んでいただいた方については2022年5月末分まで、県協会に直接持参していただいた方や報告を受けた方については2022年6月30日分までを掲載させていただきました。個人ご協力者のお名前の掲載は控えさせていただきます。

●一般募金(ハンド・イン・ハンド募金含む)

千葉県県土整備部市街地整備課、千葉県環境生活部廃棄物指導課、千葉県県土整備部建設・不動産課、千葉県健康福祉部健康づくり支援課、千葉県県土整備部都市整備局公園緑地課、千葉県出納局、千葉県循環型社会推進課、千葉県総務部学事課、千葉県総合企画部水政課、千葉県防災危機管理部防災政策課、千葉市立幸町小学校、八千代市立西高津小学校、千葉県農林水産部団体指導課、千葉県農林水産部安全農業推進課、生活協同組合コープみらい千葉県本部、千葉県経済政策課、(株)カーレッツプラス

●ウクライナ緊急募金

千葉県総合企画部国際課、(公財)ちば国際コンベンションビューロー、ガールスカウト千葉県第6団、ガールスカウト千葉県第57団、ガールスカウト千葉県第77団、(一社)千葉県商工会議所連合会職員ご一同、(一社)千葉県商工会議所連合会、八千代市立萱田小学校、成田商工会議所、千葉商工会議所、ガールスカウト千葉県第39団、コーラスいちょうの会、ガールスカウト千葉県第98団、ガールスカウト千葉県第36団、ガールスカウト千葉県第55団、銚子商工会議所、東金商工会議所、千葉県ユニセフ協会SDGsマッチデー、千葉県ユニセフ協会第24回理事会・評議員会、浦安ライオンズクラブ、日蓮宗蓮久寺、千葉県ユニセフ協会映画上映会ふれあいプラザさかえ、千葉県ユニセフ協会映画上映会もりんぴあこうづ、千葉県ユニセフ協会映画上映会千葉市生涯学習センター、市原中央高等学校、ガールスカウト千葉県第11団、ガールスカウト千葉県第66団、ウクライナ支援コンサート実行委員会、ボーイスカウト千葉第18団、御瀧不動尊金蔵寺、ボーイスカウト柏第7団、ギャラリー竹の子、ガールスカウト千葉県第20団、ガールスカウト千葉県第14団、ボーイスカウト柏第9団、(株)ナリコー、ボーイスカウト松戸第5団、船橋商工会議所、ガールスカウト千葉県第40団、ボーイスカウト市原第1団、ガールスカウト千葉県第32団、ハニービー、本漸寺、ガールスカウト千葉市協議会、千葉県ユニセフ協会ユニセフ・ラブウォーク IN 東金、ガールスカウト千葉県第43団、ガールスカウト千葉県第1団、ガールスカウト千葉県第10団

●外貨・使用済み切手・未使用切手/はがき

コープみらい千葉県本部、新千葉建設株式会社、日本労務研究所、不二建設株式会社、株式会社LINER広告社、ライブラリ淵野辺、京成自動車工業株式会社、曾於市立柳迫小学校、千葉キワニスクラブ、東京新聞千葉支局、株式会社札幌通信システム、多田機工株式会社、青森市新町商店街振興組合、橘俳句会、森の洗濯屋さんエフティ・ライフサービス株式会社、一般財団法人コープみらい社会活動財団、大和ハウス工業株式会社栃木二宮工場、オリンパスマーケティング株式会社札幌支店、ビサイドコーポレーション、株式会社千葉ステーションビル、株式会社クサカ、有限会社MOMO、大西運輸株式会社、タマパック株式会社、聖籠町社会福祉協議会、トピー実業株式会社、新居浜市ボランティア・市民活動センター、さいたま保護観察所、富士スチール株式会社、株式会社トウベ、有限会社奥羽陸運、千葉県生活協同組合連合会、ウクライナ支援コンサート実行委員会、シブヤ精機株式会社、公津の杜コミュニティセンター、明治安田生命保険相互会社柏東営業部、共和化工株式会社沖縄営業所、笠原司法書士事務所、株式会社健学社、パウダーテック株式会社、テルウェル東日本株式会社、千葉トヨタ自動車労働組合、野村ユニソン株式会社、農業組合法人房総食料センター労働組合



千葉トヨタ自動車労働組合様

お知らせ



©1970 - Compagnia Cinematografica Champion

映画「ひまわり」 チバテレ3chで放映します

7月30日(土) 19時～21時 チバテレ3ch

提供:千葉県ユニセフ協会

ウクライナ緊急募金プロジェクトの一環として、映画「ひまわり」をテレビ放映、ユニセフウクライナ緊急募金への協力を呼びかけます。ぜひご覧ください!



オンライン
募金はこちら

〈ボランティア募集〉

イベント企画・運営・機関誌編集・学習会講師等にご協力くださる方を募集しています。詳しくはホームページから。



**2022年度
ユニセフ・ちば
フレンズ
(賛助会員)を
募集しています**

ご協力をお願いいたします。

種類	会費	口数
個人	2,000円(1口)	1口以上
企業・団体	2,000円(1口)	5口以上

2021年度会員個人:87名(109口) 企業・団体11団体(245口)

日本ボーイスカウト千葉県連盟	(一社)ガールスカウト千葉県連盟
(株)京葉銀行	(株)千葉銀行
(一社)千葉県商工会議所連合会	「小さな親切」運動ちばぎん支部
(株)グリーンタワー	日本労働組合総連合会千葉県連合会
千葉県青少年団体連絡協議会	(株)マザー牧場
ジェフユナイテッド(株)	

ユニセフ募金のお振込みについて

下記のユニセフ募金口座は、窓口での手続きに限り振込手数料および硬貨取り扱い手数料がかかりません。振込用紙をご入用の場合は千葉県ユニセフ協会よりお送りいたしますのでご連絡ください。
口座番号:00190-5-31000(手数料免除口座) 加入者名:公益財団法人 日本ユニセフ協会

※上記以外の口座へのお振込みの場合、硬貨取り扱い手数料・振込手数料がかかります